

第5次基本構想前期基本計画 進捗状況等の概要

第3章 生涯にわたる学習により、心豊かに輝く人のまち

第1節 人権の尊重	1 ページ
(1) 人権教育・啓発の推進	2 ページ
(2) 男女共同参画社会を進める意識づくり	2 ページ
(3) 男女共同参画社会を進める環境づくり	4 ページ
(4) 政策決定過程における男女共同参画の推進	5 ページ
(5) 多文化共生の地域づくり	5 ページ
第2節 生涯にわたる学習・教育環境の充実	7 ページ
(1) 推進体制の充実	7 ページ
(2) 多様な学習・教育機会の充実	8 ページ
(3) 情報収集・提供、相談機能の充実	13 ページ
(4) 生涯学習関連施設の整備・連携	13 ページ
(5) 図書館サービスの充実	14 ページ
第3節 市民文化の創造	17 ページ
(1) 文化創造事業の推進	17 ページ
(2) 支援体制の充実	18 ページ
第4節 スポーツ・レクリエーションの推進	20 ページ
(1) 生涯スポーツ・レクリエーション機会の充実	20 ページ
(2) スポーツを楽しめる場の充実	22 ページ
第5節 文化財の保存と活用	24 ページ
(1) 文化財の調査・収集・保存の充実	24 ページ
(2) 歴史公園・資料館施設の活用	25 ページ
(3) 郷土伝統芸能の保存・継承活動への支援	28 ページ
(4) 地域活性化資源としての活用	29 ページ

第5次基本構想前期基本計画 進捗状況等の概要

第3章 生涯にわたる学習により、心豊かに輝く人のまち

第1節 人権の尊重

すべての市民の基本的人権の保障を基本に据えた取組みを推進するとともに、人権意識の高揚を図るための教育・啓発に取り組みます。

また、男女があらゆる分野で性別にとらわれることなく、対等な立場で活動できる男女共同参画社会の形成に向け、意識啓発と環境づくりを進めます。

さらに、多文化共生の考え方にに基づき、様々な国や地域の人々との交流を進めるとともに、外国籍市民が暮らしやすい環境を整えます。

人権の尊重	(1)人権教育・啓発の推進 B
	(2)男女共同参画社会を進める意識づくり B
	(3)男女共同参画社会を進める環境づくり B
	(4)政策決定過程における男女共同参画の推進 B
	(5)多文化共生の地域づくり A

○関連データ

	H22年度	→	H24年度
各種審議会等の女性委員比率	33.2%(H21年度)		33.8%(H23年度)
市内在住の外国籍市民	1,667人		1,504人(H24年度)

○進捗状況評価結果

	A	B	C	D	計
小柱	1	4	0	0	5
主要事業	0	1	0	0	1

ランク	評価区分の考え方
A	目標達成に向けて、順調に進捗しているもの。
B	目標達成に向けて、一部に課題等はあるが概ね順調に進捗しているもの。
C	目標達成に向けて、一部に課題等があり、進捗に多少の遅れが見られるもの。
D	目標達成に向けて、多くの課題等があり、進捗に遅れが見られるもの。

(1) 人権教育・啓発の推進（人権・市民相談課、生涯学習課）

- ◆あらゆる人権問題の解決を目指して、関係機関と連携・協力し、学校、家庭、地域、企業などを対象に、一人ひとりがお互いの違いを認め合い、尊重し合える社会づくりに向けた人権教育・啓発活動を積極的に進めます。

①実績

《新規・拡充事業》

- ・なし

《主な継続事業》

- ・職員対象の人権・同和問題研修会を開催している。
- ・人権擁護委員による啓発運動（人権作文、人権の花運動、人権の集い、視察研修など）を実施している。
- ・広報・HPによる啓発活動を実施している（人権月間、人権週間、拉致問題を考える週間）。
- ・入間郡市同和対策協議会による人権・同和問題に関する各種事業を実施している（人権標語、人権フェスティバル、指導者養成講座）
- ・人権意識の高揚を図るため、市民を対象とした講座等を実施している（一部、人権教育推進協議会に委託して協働で実施）

H23年度参加者数 人権尊重教育講演会62人、人権教育指導者養成講座158人、人権尊重啓発講座128人、人権教育講演会46人

②課題

《新規課題》

- ・なし

《主な継続課題》

- ・広報ふじみ、ホームページ以外の方法による人権啓発の充実
- ・新たな人権課題（インターネットを利用した人権侵害、貧困者や性同一性障害、拉致問題など）に対する研修実施
- ・人権に関する学習機会の充実（子どもから大人まで）

③進捗状況 B評価

人権教育・啓発の推進については、順調に事業を実施しているが、啓発事業の内容の充実、また、新たな人権課題に対する研修等の実施が課題と考え、B評価とした。

(2) 男女共同参画社会を進める意識づくり（人権・市民相談課）

- ◆男女共同参画推進条例の基本理念に基づき、性別による固定的な役割分担意識を解消し、男女の人権が等しく尊重されるよう市民、企業、学校、地域などに向けた意識啓発を行います。

①実績

《新規・拡充事業》

- ・なし

《主な継続事業》

- ・男女共同参画に関する意識啓発事業を実施している（男女共同参画に関するリーフレットや男性の子育てに関するガイドブックの配布、市民の公募委員によって構成された男女共同参画推進会議による講演会・講座・セミナーの企画・運営、市広報紙における記事掲載）。
 - ・男女共同参画プラン(第3次)を推進している。
 - ・男女共同参画確立協議会における取組みの検証と今後の課題の検討
- 主な事業と内容（H23年度）

事業	内容
男女共同参画推進会議との共催事業	講演会1回(71人)、セミナー2回(75人) 講座1回(39人) 延べ185人
男性の子育てガイドの配布	市民課や健康増進センターの窓口で母子手帳を交付するときに配布(約1,100冊)
小学生向け啓発リーフレットの配布	市内の小学4年生～6年生及び教員に配布(3,508部配布)
男女共同参画の推進に関する年次報告書の公表等	男女共同参画プラン(第3次)の達成度の調査、各課進捗状況をまとめた年次報告書の公表

②課題

《新規課題》

- ・なし

《主な継続課題》

- ・講演会・講座・セミナーへの一般市民参加者増（特に男性の参加人数の増）
- ・ドメスティックバイオレンス(DV)、セクシャルハラスメントに対する意識啓発と関係機関との連携

③進捗状況 B評価

男女共同参画を進める意識づくりについては、リーフレットやガイドブックの配布、また、さまざまな講演会・講座・セミナーを実施しているが、さらなる参加者増及びDVやセクシャルハラスメントに対する意識啓発と相談体制の強化が課題と考え、B評価とした。

『男女共同参画推進事業』（人権・市民相談課） 男女共同参画推進条例に基づく男女共同参画プラン（第3次）により、各施策を推進します。			
計画策定時の状況と現況		事業計画	
・男女共同参画プラン（第3次）の策定→ 推進中	平成23年度～25年度	平成26年度～27年度	
	・男女共同参画プラン（第3次）の推進→ 推進中	・男女共同参画プラン（第3次）の中間見直し	
指 標	現状値	目 標 値	
	平成21年度 →平成23年度	平成25年度	平成27年度
各種審議会等の女性委員の比率	33.2% → 33.8%	40%	40%
進捗状況	各種取組みは計画に従いおおむね順調に進捗しているが、さらなる参加者増及びDVやセクシャルハラスメントに対する意識啓発と相談体制の強化を課題と考え、B評価とした。		
B評価			

(3) 男女共同参画社会を進める環境づくり（人権・市民相談課）

- ◆多様化する家族形態・就労形態に対応し、家事・育児・介護などにかかわる男女が、仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）を確保できるような環境づくりに取り組みます。
- ◆ドメスティック・バイオレンス（DV）やセクシュアル・ハラスメントなどの根絶に向けて、男女がともに互いの人権を尊重しあう社会づくりを進めます。

①実績

《新規・拡充事業》

- ・なし

《主な継続事業》

- ・男女共同参画に関する意識啓発事業を実施している（男女共同参画に関するリーフレットや男性の子育てに関するガイドブックの配布、市民の公募委員によって構成された男女共同参画推進会議による講演会・講座・セミナーの企画・運営、市広報紙における記事掲載）。
- ・男女共同参画プラン(第3次)を推進している。
- ・男女共同参画確立協議会における取組みの検証と今後の課題の検討
- ・男女共同参画の取組みに関する年次報告書を作成している。
- ・DV相談等の対応として、関係各課及び関係市町村との連携・情報交換。

②課題

《新規課題》

- ・なし

《主な継続課題》

- ・講演会・講座・セミナーへの一般市民参加者増（特に男性の参加人数の増）
- ・DV、セクシャルハラスメントに対する意識啓発と相談体制の強化

③進捗状況 B評価

男女共同参画を進める環境づくりについては、前の小柱と同様、リーフレットやガイドブックの配布、また、さまざまな講演会・講座・セミナーを実施しているが、さらなる参加者増及びDVやセクシャルハラスメントに対する意識啓発と相談体制の強化が課題と考え、B評価とした。

(4) 政策決定過程における男女共同参画の推進（人権・市民相談課）

- ◆男女が対等な立場であらゆる分野に参画できるよう、政策決定など様々な意思決定過程に女性の参画を進めます。

①実績

《新規・拡充事業》

- ・なし

《主な継続事業》

- ・なし

②課題

《新規課題》

- ・なし

《主な継続課題》

- ・各種審議会等への女性登用、そのための意識啓発の推進

③進捗状況 B評価

各種審議会等の女性委員比率が高くはなっているが、さらなる女性の登用と意識啓発の推進を課題と考え、B評価とした。

(5) 多文化共生の地域づくり（人権・市民相談課、生涯学習課、公民館）

- ◆国籍にかかわらず互いの文化的違いを認め合い、同じ地域の一員として協働によるまちづくりに努めます。また、NPOなどの市民団体と連携し、多言語による行政情報の提供や外国籍市民への日本語指導などを充実します。
- ◆市民団体などによる国際交流を進めるとともに、相互理解の機会を充実します。

○外国籍市民の状況(各年10月1日現在)

国籍	H21	H22	H23	H24
韓国及び朝鮮	317	340	347	308
中国及び台湾	696	692	689	661
ブラジル	111	80	57	35
フィリピン	318	296	282	261
米国	26	24	27	20
その他	251	235	210	219
総数	1,719	1,667	1,612	1,504

①実績

《新規・拡充事業》

- ・なし

《主な継続事業》

- ・国際友好協会の活動を支援している。
- ・NPO法人ふじみの国際交流センターとの協働・委託により、パンフレットや市ホームページ等を通じ、多言語による情報提供等を行っている。
- ・国際交流フォーラムを実施している（市、教育委員会、国際友好協会の共催。年1回秋に開催し、異文化体験コーナー、写真パネルの展示、在日外国人の主張などがある。参加者数—H22年度303人、H23年度190人、H24年度228人）
- ・国際交流サロンを実施している。[水谷公民館]

②課題

《新規課題》

- ・なし

《主な継続課題》

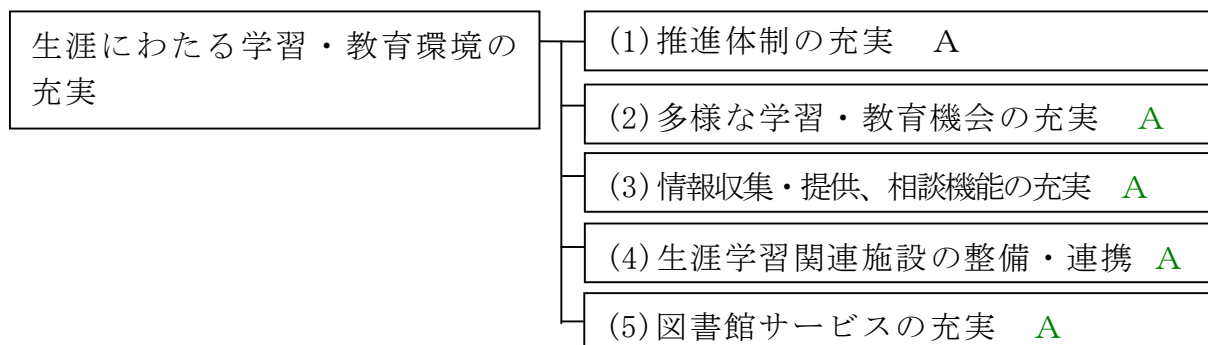
- ・外国籍市民へのよりタイムリーな情報提供(現在は、年1回程度のHP更新)
- ・国際交流フォーラムの外国人来場者の増加と実施内容の見直しなど（在日外国人の主張では、意見提供で終わらせることなく、それを元に協議する機会を作ることで地域とのかかわりや相互理解を深める）。
- ・国際交流サロンの参加者増加 [水谷公民館]

③進捗状況 A評価

多文化共生の地域づくりについては、市民団体との協働・連携により順調に事業を推進しているため、A評価とした。

第2節 生涯にわたる学習・教育環境の充実

市民一人ひとりが豊かな人間性を育むことができるよう、幅広い世代の多様な学習要求に応じた機会や情報の提供、施設間の連携など、学習・教育環境を充実します。また、学んだ成果が家庭や地域に還元され、豊かなまちづくりに活かせる仕組みづくりを進めます。



○関連データ

	H 2 1 年度		H 2 3 年度
公民館利用人数(のべ)	203,058 人	→	210,958 人

○進捗状況評価結果

	A	B	C	D	計
小柱	5	0	0	0	5
主要事業	4	0	0	0	4

(1) 推進体制の充実（地域文化振興課）

- ◆子どもから高齢者まで幅広い世代にわたる学習・教育活動が展開されるよう、市民参加により「富士見市生涯学習推進基本計画」を進めます。

①実績

《新規・拡充事業》

- ・なし

《主な継続事業》

- ・第2次生涯学習推進基本計画を推進している。

②課題

《新規課題》

- ・なし

《主な継続課題》

- ・なし

③進捗状況 A評価

平成23年4月に策定された第2次生涯学習推進基本計画に従い事業を推進している。また、計画の進行管理についても市民との協働(生涯

学習推進委員会)で実施していることから、A評価とした。

『生涯学習推進事業』（地域文化振興課）		
第2次生涯学習推進基本計画に基づき、生涯学習の各施策を市民協働により進めていくとともに、推進体制の整備を行います。		
計画策定時の状況と現況	事業計画	
・第2次生涯学習推進基本計画の策定 → 策定済	平成23年度～25年度	平成26年度～27年度
	・基本計画の推進 → 推進中	・第2次生涯学習推進基本計画の中間見直し
進捗状況	平成23年4月に策定された第2次生涯学習推進基本計画に従い事業を推進している。また、計画の進行管理についても市民との協働で実施していることから、A評価とした。	
A評価		

(2) 多様な学習・教育機会の充実（生涯学習課、公民館、交流センター）

- ◆乳幼児期から高齢期に至る各ライフステージや地域及び現代的課題の解決のために、様々な学習・教育の機会を充実します。
- ◆学習・教育の機会を通して人と人がつながり、豊かな地域社会の実現に向けた活動に発展していくための支援を行います。

①実績

《新規・拡充事業》

- ・なし

《主な継続事業》

- ・まちづくり講座(通称：出前講座)実施している。
回数・参加者数 H22年度—44回 2,718人 H23年度—45回 2,170人
- ・市民人材バンクを運営している。
登録者数 H22年度 個人123人・団体45団体
H23年度 個人134人・団体49団体
利用件数 H22年度 230件 H23年度 234件
のべ利用者数 H22年度 19,815人 H23年度 17,899人
- ・子育てサロン、子育て講座、わんぱく広場(小学生対象の体験講座)、高齢者学級、介護予防講座、パソコン講座等を実施している。[各公民館]

○平成24年度 まちづくり講座（出前講座）実施内容（H25年3月4日現在）

講座名	件数	参加者数	担当
教えて！市役所の仕事	1	165	政策企画課
ふじみの未来予想図	3	214	政策企画課
災害時要援護者支援事業について	2	68	福祉課（安心安全課）
自主防災組織のすすめ	1	70	安心安全課
今すぐのできる震災対策	4	265	安心安全課

講座名	件数	参加者数	担当
富士見市の防災	5	237	安心安全課
富士見市の交通安全について	1	20	交通・管理課
あなたが止める地球温暖化講座	3	334	環境課
ごみの出し方（ごみの種類と分別方法）	1	109	環境課
あなたにもできる生ごみ「水切り」のすすめ	1	109	環境課
下水道のしくみと役割	1	109	下水道課
子どもを守れ！	1	25	学校教育課
国民健康保険制度について	2	65	保険年金課
後期高齢者医療制度について	1	40	保険年金課
介護保険ってなんですか？	2	73	高齢者福祉課
高齢者の相談窓口「地域包括支援センター」	1	30	高齢者福祉課
あなたの知りたい「健康づくり講座」	2	120	健康増進センター
難波田氏と難波田城	1	57	難波田城資料館
江戸時代の富士見	1	22	難波田城資料館
むかし体験	1	100	難波田城資料館
市民見学試食会	1	10	学校給食センター
安全・安心な飲料水をおとどけします	4	345	水道課
- リクエスト講座 -	4	293	-
合計	44	2,880	-

○鶴瀬公民館 講座等実施内容(H23年度)

事業名	開催数	参加人数
パソコン相談室（通年）	91	1,899
子育てサロン（通年）	50	1,224
おかあさんのステップアップ講座	5	111
子育てサロンサポーター養成講座	2	30
夏休み体験教室	1	40
子育てコーチング講座	2	71
わんぱく広場スタッフの会支援事業	12	120
第36期鶴瀬学級（通年）	26	（登録）282
介護予防事業 高齢者サロン事業（通年）	118	2,701
介護予防事業 サロンサポーター学習会	1	16
第30回つるせ公民館まつり	1	3,200
げんもりかん映画会	2	672
市民文化活動支援事業（市民演劇のつどい等）	5	1,080
地域自治シンポジウム	1	180
ピースフェスティバルプレ企画 ひとり芝居	1	110

事業名	開催数	参加人数
ピースフェスティバル	1	4,434
平和学習会 ひとり語り	1	100

○南畑公民館 講座等実施内容(H23年度)

事業名	開催数	参加人数
子育てサロン「ちびっこあおむし」	11	228
子ども事業企画「怪皆亭」	5	297
子ども事業「わくわく子ども体験室」	1	31
なんばた学級全体学級・全体会	10	986
なんばた学級全体学級・クラブ活動	175	1,829
なんばた青空市場	1	2,300
利用者の会「新春交流会」	1	101
南畑ふれあい劇場	1	150

○水谷公民館 講座等実施内容(H23年度)

事業名	開催数	参加人数
子育てサロン	20	285
親子フレンドパーク	12	157
お母さん達のチャットルーム	3	58
お母さんのステップアップ講座	4	57
子育てサロンスタッフ「サポート スクール」	1	13
パソコン相談室	42	676
障がい者PC学習室	20	126
水谷（高齢者）学級	10	107
介護予防講座	1	23
教育講演会	1	51
水谷親子劇場	1	75
水谷文化祭	1	2,000
水谷新春交流会	1	97
国際交流サロン	1	26
水谷青空学校	1	48
みずほ台小区青空学校	1	16

○水谷東公民館 講座等実施内容(H23年度)

事業名	開催数	参加人数
パソコン相談室	44	364
子育てサロン	12	144
コールあじさい「秋のミニコンサート」	1	140

事業名	開催数	参加人数
地域問題学習会	1	20
第31回豆の木学校	1	51
熟年学級・全体会（受講者87人）	9	484
熟年学級・部活動（9クラブ）	62	649
第19回やなせ川いかだラリー（9艇）	1	31
音楽の夕べ	1	52
川の学習会	1	15

○ふじみ野交流センター 講座等実施内容(H23年度)

講座名・内容	回数	参加人数
リコーダー入門講座	4	17
リフォーム体験講座	1	10
自分で作るお正月飾り「水引」	1	10
自分で作るお正月飾り「わら」	1	18
食文化講座「太巻き祭り寿司」	1	23
ティータイムコンサート	1	24
イキイキ健康体操	3	26
講演会「災害とコミュニティ」	1	33
土曜遊び広場（ドッジボール、卓球、料理）	20	331
夏休み子ども遊遊パーク	9	220
勝瀬の七夕まつり	1	230
「にこにこ広場」支援	7	140(組)
ベビービクス	2	41(組)
保育付き講座（幼児安全法他）	2	23(組)
ふじみ野じゅく	11	314
第13回勝瀬de緑日	1	1,300
勝瀬のお月見	1	26
勝瀬の小正月	1	18
もちつき大会	1	85
ふじみ野文化祭	2(日)	1,200
利用者懇談会	2	27(団体)

○鶴瀬西交流センター 講座等実施内容(H23年度)

講座名	回数	参加人数
水曜学級	10	(登録)219
子育て講座	2	78
フリースペース西っ子	10	男児 45 女児 55
子どもひろば等（夏休み・冬休み）	5	134

講座名	回数	参加人数
お父さん出番ですよ講座	2	22(組)
ゴーヤを育てて緑のカーテン	3	25
西交流センター縁日	1	1,700
初心者俳句講座	4	16
水墨画講座	4	16
回想法講演会	3	72
西交流センター・リラックスタイム	6	740
西交流センターフェスティバル	2(日)	5,000

②課題

《新規課題》

- ・地域社会の活性化のための講座等開催（地域リーダーの養成、地域デビュー講座等）

《主な継続課題》

- ・講座等企画への市民参画
- ・学校との連携を踏まえた学校支援ボランティアのための講座開催
- ・勤労者世代が参加しやすい講座開催

③進捗状況 A評価

様々な学習・教育の機会が設けられ多くの地域住民が参加しているため、A評価とした。

『市民の多様な学習への支援』（公民館、交流センター）			
学習テーマに対応した講師などの紹介や日常生活に即した課題を解決するために各種学級講座を開催し、より豊かな生活のための学習・文化活動を充実します。			
計画策定時の状況と現況	事業計画		
・講師などの紹介、各種学級講座の開催 → 継続中	平成23年度～25年度	平成26年度～27年度	
	・講師などの紹介 ・学級講座の充実 → 継続中	・講師などの紹介 ・学級講座の充実	
指 標	現状値	目 標 値	
	平成21年度 →平成23年度	平成25年度	平成27年度
参加者数（延べ） （公民館）	24,000 → 27,078	25,000	28,000
参加者数（延べ） （交流センター）	9,600 → 6,433	10,200	10,700
進捗状況	様々な学習・教育の機会が設けられ多くの地域住民が参加しているため、A評価とした。		
A評価			

(3) 情報収集・提供、相談機能の充実（生涯学習課、公民館、交流センター）

- ◆ 様々な生涯学習関連情報を、広報紙、ホームページ、公民館だよりなどを通して提供します。
- ◆ 市民の自主的な学習活動を支援するために、公民館、交流センターなどで相談機能の充実に努めます。

①実績

《新規・拡充事業》

- ・なし

《主な継続事業》

- ・ 広報ふじみや公民館だより・つるせ西だより、また市ホームページにより、イベント・講座等の情報を提供している。
- ・ 公民館だより・つるせ西だよりは、市民により編集されている。
- ・ 「公の施設利用団体・サークル一覧」を作成し、市ホームページや各施設にて情報を提供している。

②課題

《新規課題》

- ・ 情報を得るためのデジタル機器に不慣れな方々等、情報弱者に対するきめこまやかな支援

《主な継続課題》

- ・ 生涯学習情報の集約と公表、利用者との双方向の情報交換。

③進捗状況 A評価

市民に対して様々な生涯学習関連情報が提供されているため、A評価とした。

(4) 生涯学習関連施設の整備・連携（公民館、交流センター）

- ◆ 各施設の計画的な維持管理を行うとともに、ユニバーサルデザインや情報化社会に対応した設備・機能の整備を進め、市民の誰もが利用しやすい施設を目指します。
- ◆ 公民館や交流センター、コミュニティセンターなどの生涯学習関連施設が地域の拠点施設としての役割・機能を発揮できるよう、ネットワーク化を進めます。

①実績

《新規・拡充事業》

- ・ 屋上防水工事(H23年度)、耐震補強工事(H24年度) [鶴瀬公民館]
- ・ 耐震工事設計・エレベーター設置工事設計(H24年度) [南畑公民館]
- ・ 多目的ホール音響設備更新・エレベーター設置工事(H24年度) [水谷公民館]
- ・ 耐震補強工事設計・エレベーター設置工事設計・多目的ホール拡張工事設計・大規模改修工事設計(H24年度) [水谷東公民館]

《主な継続事業》

- ・なし

②課題

《新規課題》

- ・一時避難場所としての機能確保

《主な継続課題》

- ・老朽化した建物・設備の計画的な改修
- ・公共施設予約システム導入の検討

③進捗状況 A評価

建物・設備の改修は計画的に行われているため、A評価とした。

『公民館施設維持管理事業』			
安全で快適に利用できるよう、ユニバーサルデザインなどに配慮しながら、各公民館施設・設備の計画的な改修を進め、地域における生涯学習活動を推進します。			
計画策定時の状況と現況	事業計画		
・水谷公民館外壁改修工事、南畑公民館中庭修繕 → 修繕済	平成23年度～25年度	平成26年度～27年度	
	<ul style="list-style-type: none"> ・エレベーターの設置 (南畑公民館、水谷公民館、水谷東公民館) ・多目的ホール増築 (水谷東公民館) → 進行中 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の改修などの推進 	
指 標	現状値	目 標 値	
	平成21年度 →平成23年度	平成25年度	平成27年度
利用人数(延べ) (公民館4館)	203,058 → 210,958	220,000	230,000
進捗状況	建物・設備の改修は計画的に行われているため、A評価とした。		
A評価			

(5) 図書館サービスの充実(生涯学習課)

- ◆地域の情報拠点として資料の充実に取り組みます。
- ◆情報ネットワークの活用、調査相談機能や配本サービスの充実に努め、市民の多様な学習・文化活動を支援します。
- ◆子どもたちが読書の機会を通して豊かな心が育めるよう、学校教育との連携や市民団体などとの協働を進めます。

①実績

《新規・拡充事業》

- ・図書館において、Webレファレンス（ホームページでの相談受付、メールで資料案内）を開始した（H24年度から）。

《主な継続事業》

- ・公民館等公共施設での図書資料受取サービスを実施している。
- ・読み聞かせボランティアとの協働によるおはなし会を開催している。
- ・子どもの読書活動にかかわる市民を対象とした講座を開催している。
- ・第2次子ども読書活動推進計画策定を準備している。

○主な事業内容

- ・利用状況等

	中央図書館		ふじみ野分館		鶴瀬西分館	
	22年度	23年度	22年度	23年度	22年度	23年度
開館日数(日)	303	303	304	305	305	305
登録人数(人)	2,266	2,023	494	502	302	263
利用人数(人)	103,318	101,247	29,667	30,769	13,393	14,104
貸出冊数(冊)	402,189	395,929	126,741	125,480	42,141	44,283
予約サービス数(点)	57,053	59,300	3,913	3,903	4,198	4,309
乳幼児施設団体貸出状況			22年度	23年度		
貸出冊数(冊)			4,395	5,714		

- ・テーマ展示（季節行事や時事問題をテーマとした資料展示）

	中央図書館		ふじみ野分館		鶴瀬西分館	
	22年度	23年度	22年度	23年度	22年度	23年度
回数(回)	59	83	14	26	29	23

- ・おはなし会

	中央図書館		ふじみ野分館		鶴瀬西分館	
	22年度	23年度	22年度	23年度	22年度	23年度
参加人数(人)	655	735	284	815	279	316
開催数(回)	35	37	22	24	24	24

- ・その他事業

一般 中央図書館：講演会2回、講座3回／鶴瀬西分館：教養講座1回
 児童 中央図書館：工作回5回、おもしろ科学教室4回、1日図書館員2回 調べる学習講座1回
 ふじみ野分館：図書館紹介イベント1回／鶴瀬西分館：こども科学講座1回

②課題

《新規課題》

- ・なし

《主な継続課題》

- ・学校や地域住民との連携
- ・子どもたちの読書機会の充実に向けた取組み

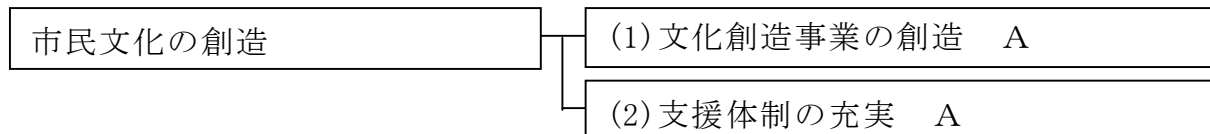
③進捗状況 A評価

おおむね順調に計画を推進しているため、A評価とした。

『市民ニーズにあった図書館サービス』（生涯学習課）			
市民にとって適切な書籍や資料の充実を図るとともに、電子書籍など新たなサービスについて検討し、地域の情報拠点として利用しやすく役立つ図書館を目指します。			
計画策定時の状況と現況	事業計画		
<ul style="list-style-type: none"> ・予約サービス、電子メールによる調査相談受付、音楽配信サービスなどの実施 → Webレファレンスの実施 	平成23年度～25年度	平成26年度～27年度	
	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者サービスの研究、充実 ・空調改修工事 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者サービスの研究、充実 ・空調改修工事 	
指 標	現 状 値	目 標 値	
	平成21年度 →平成23年度	平成25年度	平成27年度
図書館利用者数 (延べ)	163,816 → 162,016	167,600	170,000
進捗状況	Webレファレンス事業の拡大など、順調に計画を推進している		
A評価	ため、A評価とした。		

第3節 市民文化の創造

心豊かな生活が実感できるまちづくりを目指して、身近な地域で市民が芸術文化にふれ、自らが参加・創造・発信できるよう、市民文化会館キラリふじみをはじめ市内公共施設を拠点として活用します。さらに、市民との交流や協働の機会の充実により、地域文化の担い手を育成します。



○関連データ

	H22年度	→	H23年度
キラリふじみ自主事業入場者数	31,457人		22,395人

○進捗状況評価結果

	A	B	C	D	計
小柱	2	0	0	0	2
主要事業	1	0	0	0	1

(1) 文化創造事業の推進（地域文化振興課）

- ◆市民文化会館キラリふじみを富士見市の文化創造・発信の核として位置付け、すべての市民が身近に多様な芸術文化にふれられる機会の提供や市民相互の交流、文化の担い手の育成を進めます。
- ◆文化の主役である市民とともに、地域の誇りとなる優れた芸術文化を創造し、全国に向けて発信していきます。
- ◆富士見市から発信された芸術文化が、市内外の人との交流や活動の広がりをつくり、日常生活の充実や心の豊かさが実感できる文化振興を通じたまちづくりを進めます。

①実績

《新規・拡充事業》

- ・文化芸術振興条例を策定した(H24年度)。
- ・文化芸術振興基本計画検討委員会により計画づくりに着手している(H24年度着手)。
- ・市制施行40周年記念事業を実施した（キラリとかがやく市民コンサート、陸上自衛隊による演奏会、ブラボーオーケストラの公開録画等）。

《主な継続事業》

- ・キラリふじみにおいて、鑑賞（学習）事業、交流・育成事業、創造・

発信事業を実施している。

- ・文化振興基金を管理・運用している (H23年度末残高 65,761,433円)。
- ・市広報紙・ホームページ、キラリふじみの広報紙などにより情報を発信している。

②課題

《新規課題》

- ・「キラリふじみ」と「市役所前大型商業施設」の文化芸術事業の連携にかかる検討
- ・「劇場、音楽堂等の活性化に関する法律」の施行に伴う影響

《主な継続課題》

- ・なし

③進捗状況 A評価

文化芸術振興条例の制定やキラリふじみにおける文化芸術事業の実施など順調に計画が進捗していることから、A評価とした。

『文化創造事業』（地域文化振興課） 文化創造・発信の核となるよう文化振興条例を制定します。		
計画策定時の状況と現況	事業計画	
・文化庁が支援する「優れた劇場・音楽堂からの創造発信事業」で採択された県内唯一の施設（キラリふじみ）として個性豊かな芸術文化の創造と提供を実施→ 継続中	平成23年度～25年度	平成26年度～27年度
	<ul style="list-style-type: none"> ・文化振興条例の検討及び制定 →条例制定した ・文化振興に関する計画の検討・策定 →計画検討中 ・キラリふじみ開館10周年記念事業実施 →実施した 	<ul style="list-style-type: none"> ・文化振興に関する計画の推進
進捗状況	文化芸術振興条例の制定やキラリふじみにおける文化芸術事業の実施など順調に計画が進捗していることから、A評価とした。	
A評価		

(2) 支援体制の充実（地域文化振興課、生涯学習課、公民館、交流センター）

- ◆市民文化祭をはじめとした各種の芸術文化活動を支援します。
- ◆市内公共施設を利用する文化活動団体・サークルなどの情報提供や、団体相互の交流の機会をつくり、市域全体に芸術文化活動の輪を広げます。

①実績

《新規・拡充事業》

- ・なし

《主な継続事業》

- ・市民文化祭の開催に対する支援及び公民館・交流センター利用団体による文化祭等実施

H23年度市民文化祭 260団体・個人参加、7,772人来場

②課題

《新規課題》

- ・なし

《主な継続課題》

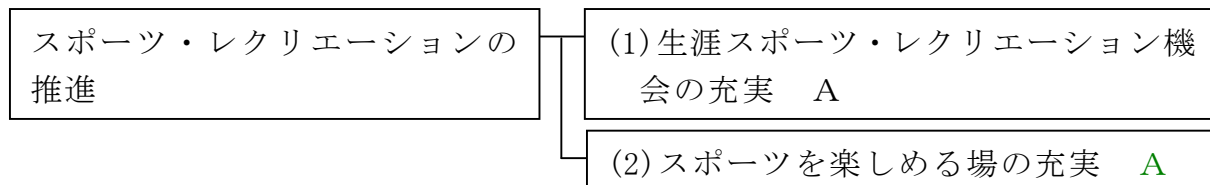
- ・多様な情報発信手法の検討
- ・キラリふじみを拠点とした市民の文化芸術活動に関する多様な情報発信手法の検討
- ・公民館等においては、サークル活動の活性化、利用者の拡大、利用者同士の交流を深める事業の実施、針ヶ谷、みずほ台地区での出前事業の実施、学校や地域と連携し、子どもたちの文化芸術の発表の場や参加を促す方策の検討
- ・市民文化祭や、各公民館などで開催されている文化祭など文化活動発表の場に関する情報発信

③進捗状況 A評価

計画はおおむね順調に進捗していることから、A評価とする。

第4節 スポーツ・レクリエーションの推進

誰もが健康で生きいきとした市民生活を送れるよう、年齢や体力にかかわらずスポーツ・レクリエーションに親しめる機会をつくります。また、市民の自主的なスポーツ・レクリエーション活動を支援するため、指導者の養成、情報提供、施設環境の充実に取り組みます。



○関連データ

	H22年度		H23年度
市民総合体育館利用者数	160,992人	→	159,489人
学校体育施設開放利用団体数	4,308団体		5,126団体
学校体育施設開放利用人数	77,945人		106,002人
運動公園利用団体数	7,904団体		6,944団体
運動公園利用人数	45,984人		40,831人

○進捗状況評価結果

	A	B	C	D	計
小柱	2	0	0	0	2
主要事業	2	0	0	0	2

(1) 生涯スポーツ・レクリエーション機会の充実（生涯学習課）

- ◆世代を問わず市民が身近にスポーツ・レクリエーションに親しみ、健康づくりや交流する機会を広げるため、体育指導委員や各種スポーツ団体などと連携したスポーツ教室、大会などの事業を充実します。
- ◆市民の自主的な活動を進めるため、相談・情報提供などの充実に取り組むとともに、地区体育祭や関係団体などの活動を支援します。

①実績

《新規・拡充事業》

- ・障がい者のスポーツ体験を実施した（H24年度）。
「障がい者スポーツ みんなでスポーツしよう！」（ラジオ体操、スマイルボウリング、ゲートボールビンゴ、輪投げ）参加者9名

《主な継続事業》

- ・ヘルシーウォーク大会・市民健康増進スポーツ大会・地区事業等を開催している。

○事業内容等(H23年度)

内 容	対 象 者	回数	参加者数
新体力テスト	20歳～79歳の市民	1	13
ウォーキング教室	市民一般	2	25
キンボール教室	市民一般・スポーツ指導者	1	24
スポーツ指導者養成講座	スポーツ団体指導者、一般	1	108
心肺蘇生法と自動体外式除細動器（AED）講習会	学校開放利用団体他	4	138 (101団体)
第20回ふじみヘルシーウォーク大会	一般	1	307
第34回市民健康増進スポーツ大会	一般	—	5,796

②課題

《新規課題》

- ・スポーツ推進計画策定の検討

《主な継続課題》

- ・年齢や障がいの有無にかかわらず、誰もが日常生活の一部として親しめる地域スポーツ事業の推進

③進捗状況 A評価

順調に計画が進捗していることから、A評価とした。

『生涯スポーツ推進事業』（生涯学習課） 日常生活におけるスポーツ・レクリエーション活動への参加機会を充実します。			
計画策定時の状況と現況		事業計画	
・各種スポーツ教室・大会の開催 →継続中、障がい者へのスポーツ体験の場の提供	平成23年度～25年度	平成26年度～27年度	
	・スポーツ教室・大会などの開催 ・ニュースポーツや高齢者も楽しめるスポーツの普及 → 継続中、障がい者へのスポーツ体験の場の提供	・スポーツ教室・大会などの開催 ・ニュースポーツや高齢者も楽しめるスポーツの普及	
指 標	現状値	目 標 値	
	平成22年度 →平成23年度	平成25年度	平成27年度
健康増進スポーツ大会及び各種スポーツ教室・大会参加者数 (延べ)	6,282 → 6,554	7,500	7,800
進捗状況	スポーツ大会等への参加者も増加し、順調に計画が進捗していることから、A評価とした。		
A評価			

(2) スポーツを楽しめる場の充実（生涯学習課）

- ◆市民が身近な場所で安全にスポーツ・レクリエーションを楽しむことができるよう、市民総合体育館、富士見ガーデンビーチ、運動公園などの施設環境を整備します。
- ◆学校体育施設の開放については、自主的に行われている学校体育施設開放運営協議会と連携して取り組みます。

①実績

《新規・拡充事業》

- ・市民総合体育館工事・修繕：柔道場畳交換(H23年度)、空調ボイラー改修・体育協会事務所設置(H24年度)
- ・ガーデンビーチ改修：トイレ等改修(H23年度)、床面(こどもプールエリア等)改修(H24年度)

《主な継続事業》

- ・学校体育施設を開放している。

②課題

《新規課題》

- ・スポーツ推進計画策定の検討

《主な継続課題》

- ・市民総合体育館アスレチックジム機器の老朽化対応と障がい者や高齢者にも使いやすい施設の改修等

③進捗状況 A評価

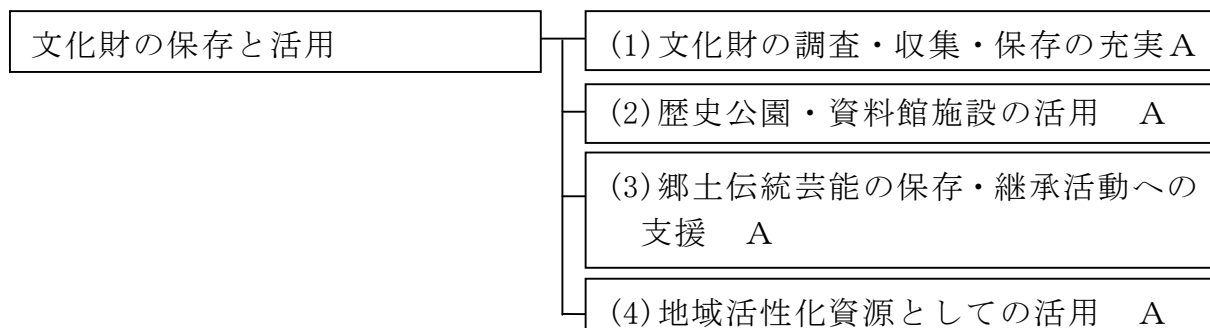
社会体育施設については、おおむね計画的に修繕・改修に取り組んでいるため、A評価とした。

『社会体育施設維持管理事業』（生涯学習課）			
市民の日常生活におけるスポーツ活動を活発にするため、市民総合体育館、ガーデンビーチ、運動公園などの施設環境を充実します。			
計画策定時の状況と現況		事業計画	
<ul style="list-style-type: none"> ・市民総合体育館大規模改修工事 → 柔道場畳交換(H23年度)、空調ボイラー改修(H24年度) ・ガーデンビーチ各所塗装修繕など → トイレ改修(H23年度)、こどもプールエリア床面改修(H24年度) 	平成23年度～25年度	平成26年度～27年度	
	<ul style="list-style-type: none"> ・第1、2運動公園の整備充実 ・市民総合体育館及びガーデンビーチの設備改修工事など → [体育館]柔道場畳交換(H23年度)、空調ボイラー改修(H24年度)、[ガーデンビーチ]トイレ改修(H23年度)、こどもプールエリア床面改修(H24年度) 	<ul style="list-style-type: none"> ・第1、2運動公園の整備充実 ・ガーデンビーチの設備改修工事など 	
指 標	現状値	目 標 値	
	平成21年度 →平成23年度	平成25年度	平成27年度
市民総合体育館の年間利用者数(延べ)	186,231 →159,489(*)	188,000	190,000
進捗状況	おおむね計画的に修繕・改修に取り組んでいるため、A評価		
A評価	とした。		

(* 東日本大震災後、節電のため、開館時間を短縮した影響による減少)

第5節 文化財の保存と活用

市の歴史・文化資産を大切に保存、継承するとともに、郷土への愛着を深めるための取組みを進めます。また、市民との協働により、まちを活性化する資源として積極的な活用に努めます。



○関連データ

	H 2 1 年度	→	H 2 3 年度
資料館入館者数(のべ)	88,620 人		89,908 人
資料館主催事業参加者数(のべ)	6,436 人		6,730 人

○進捗状況評価結果

	A	B	C	D	計
小柱	4	0	0	0	4
主要事業	1	0	0	0	1

(1) 文化財の調査・収集・保存の充実（生涯学習課、資料館）

- ◆埋蔵文化財や有形・無形の文化財の調査・収集を着実に実施し、適切な保存と公開・活用に努めます。

①実績

《新規・拡充事業》

- ・なし

《主な継続事業》

- ・発掘調査を実施し、発掘調査報告書を作成している。
- ・市指定文化財の定期的パトロール(年1回及び悪天候後など)と管理者に対し助言等をしている。
- ・文化財台帳を整備し、充実させている。
- ・民具(農具やたんす等の家財道具など)・古文書等の受入れと、企画展や館外貸出し、また校外授業などで活用している。
- ・資料台帳のデジタル化を推進している。

②課題

《新規課題》

- ・多様な歴史文化資源の全体像を把握するための「文化財総合目録」

の作成

- ・文化財保護マスタープラン策定の検討

《主な継続課題》

- ・災害にも対応できる収蔵設備の整備

③進捗状況 A評価

順調に計画が進捗していることから、A評価とした。

(2) 歴史公園・資料館施設の活用（生涯学習課、資料館）

- ◆市民との協働により、水子貝塚公園の復元住居や難波田城公園の古民家など歴史的建造物などの活用を促進し、学習機会を充実します。
- ◆市民の憩いや交流の場として活用します。

①実績

《新規・拡充事業》

- ・サークルベンチ・学習広場テーブル・展望台の修繕(H24年度)[水子貝塚公園]
- ・旧鈴木家長屋門漆喰壁修繕・園路整備工事(H23年度)、旧大澤家茅葺屋根修繕・池ろ過施設修繕(H24年度)[難波田城公園]

《主な継続事業》

- ・市民学芸員の養成と展示ガイドなどを充実させている。
市民学芸員登録者数 水子貝塚資料館 28人 難波田城資料館 29人

○水子貝塚資料館の事業

- ・夏季ミニ企画展「縄文時代の彩色土器」／期間：平成23年8月28日～10月16日
- ・企画展「縄文土器と動物装飾 2-蛇-」／期間：平成24年1月15日～3月11日
- ・企画展関連講座「ふじみ考古学教室」(H23年度)

開催日	内 容	受講者数
2/11	狭山丘陵の縄文人ー東村山市下宅部遺跡で明らかとなった新知見ー	36人
2/25	考古学と科学ーレプリカ法による痕跡からのアプローチー	36人

※両講座とも「市民学芸員養成講座」を兼ねています。

- ・体験学習事業(H23年度)

開催日	事業名	参加者
7/23・24、8/20	夏休み縄文体験	6人
7/30・31	古代の鏡づくり	7人
11/12・20	古代の鏡づくり	8人
10/9～12/10	土器づくり教室	16人

・公園活用事業

事業名	平成22年度	平成23年度
水子貝塚星空シアター	縄文体験、模擬店など 野外映画「カールじいさんの空 飛ぶ家」 参加人数 3,300人	縄文体験、模擬店など 野外映画「トイ・ストーリー ー3」 参加人数 2,800人
縄文の森コンサート	「日曜の午後をフルーツと ともに」 参加人数 130人	「縄文の森クラシックコ ンサート」アンサンブル凜 参加人数 120人

・土曜おもしろミュージアム

事業名	平成22年度		平成23年度		概要
	回数	参加者	回数	参加者	
まがたまづくり	4回	311人	4回	286人	小学生対象 各回午前・午後 実施(2回) 指導は職員・市 民学芸員
ミニチュア土器づくり	2回	111人	3回	93人	
土笛づくり	1回	75人	1回	33人	
石のアクセサリーづくり	1回	52人	1回	48人	
土の耳飾りづくり	1回	23人	—	—	
竹とんぼづくり	1回	77人	1回	49人	
ブーメランづくり	1回	32人	—	—	
草木染め	1回	73人	2回	126人	
ウッドクラフト	1回	51人	2回	62人	
縄文ポシェットづくり	1回	13人	1回	58人	
アンギン編み(コースター)	1回	26人	1回	8人	
貝の輪づくり	1回	20人	—	—	
組紐のミサンガづくり	1回	24人	1回	86人	
縄文クッキーづくり	1回	25組	1回	16組	親子対象
藍染め	—	—	1回	10組	

○難波田城資料館の事業

- ・ 秋季企画展「遺跡が語る富士見市の中世」／期間：平成 23 年 10 月 22 日～12 月 25 日
- ・ 春季企画展「世界一の砲丸職人-辻谷政久氏のものづくり-」／期間：平成24年3月10日～8月19日
- ・ 普及事業

事業名	内 容	参加者	
		H22 年度	H23 年度
ふるさと体験 (月1回程度開催)	ゆかた着付け、藍の生葉染め、 十五夜団子、手打ちそば、わら 草履、正月かざり 計6回	67 人	66 人
ちょこっと体験 (毎土日祝開催)	はたおり体験、紙のこいのぼり づくり、縄ない、綿くり等 計117回	3,111 人	2,957 人
その他の主催事業	田んぼ体験隊、古民家宿泊体 験、古文書教室、竹かご教室、 拓本教室等 計13回	550 人	309 人
難波田城公園活用 推進協議会共催及 び協力事業	たっぷり！ちょこっと体験	—	600 人
	じゃがいも掘り、さつまいも掘 り、古民家コンサート、古民家寄席、 ちょっ蔵市(月1回開催)	572 人	697 人
その他の共催事業	ふるさと探訪 2回	70 人	60 人

②課題

《新規課題》

- ・ なし

《主な継続課題》

- ・ 市民学芸員や資料館友の会等との協働事業の充実

③進捗状況 A評価

順調に計画が進捗していることから、A評価とした。

『水子貝塚公園・難波田城公園運営事業』（資料館） 資料館や歴史公園を活用し、市民学芸員や資料館友の会などとの連携により郷土学習機会の提供と学習活動の支援に努めます。また、広報やホームページなどにより積極的に情報を発信します。			
計画策定時の状況と現況		事業計画	
<ul style="list-style-type: none"> 体験学習など主催事業を開催 協力団体との協働による事業の実施 → 継続中 	平成23年度～25年度	平成26年度～27年度	
	<ul style="list-style-type: none"> ボランティア・協力団体との協働の充実 施設を活用した事業の充実 → 継続中 	<ul style="list-style-type: none"> ボランティア・協力団体との協働の充実 施設を活用した事業の充実 	
指 標	現状値	目 標 値	
	平成21年度 →平成23年度	平成25年度	平成27年度
<水子貝塚資料館>	38,934		
・入館者数（延べ）	2,259	40,000	41,000
・主催事業参加者数（延べ）	↓	2,300	2,400
	42,195		
	2,646		
<難波田城資料館>	49,686	51,000	53,000
・入館者数（延べ）	4,177	4,200	4,300
・主催事業参加者数（延べ）	↓		
	47,713(*)		
	4,084(*)		
進捗状況	順調に計画が進捗していることから、A評価とした。		
A評価			

(* 東日本大震災後、節電のため、開館時間を短縮した影響による減少)

(3) 郷土伝統芸能の保存・継承活動への支援（生涯学習課）

- ◆市内の伝統的な囃子や獅子舞など郷土芸能の保存、継承、後継者育成などを支援します。
- ◆市民の郷土伝統芸能への理解を深めるため発表の機会をつくり、郷土意識の高揚に取り組みます。

①実績

《新規・拡充事業》

- ・なし

《主な継続事業》

- ・文化財保存団体連絡協議会の活動を支援している（道具の修繕や後

継者育成のため)。

- ・「郷土芸能 お囃子の祭典」を開催（水子城の下組囃子、水子石井囃子）し、参加者数233人(H24年度)

②課題

《新規課題》

- ・なし

《主な継続課題》

- ・伝統芸能の後継者育成

③進捗状況 A評価

計画はおおむね順調に進捗していることから、A評価とした。

(4) 地域活性化資源としての活用（生涯学習課、地域文化振興課）

- ◆市内の歴史公園や点在する指定文化財を文化資産として整備・活用し、市民の地域への愛着を高めるとともに、市の観光資源として、地域の活性化に取り組みます。

①実績

《新規・拡充事業》

- ・フィルムコミッションにより市をPRした（水子貝塚公園や難波田城公園等をテレビ等の撮影場所として情報提供）。

映像会社等からの申請件数 6件(H24年4月～H25年2月)

《主な継続事業》

- ・広報ふじみやホームページにより文化財を紹介している。

②課題

《新規課題》

- ・なし

《主な継続課題》

- ・なし

③進捗状況 A評価

順調に計画が進捗していることから、A評価とした。